

令和5年度 新しい生活様式に沿った二地域居住の推進実証調査

栃木県 那須町

二地域居住デジタル会員証を活用した「地域の担い手促進」プロジェクト ～地域体験・交流による関係性促進～

《概要》

実施の目的

- 那須町の課題として、二地域居住者の実態（訪問頻度、滞在期間、地域内での活動・行動等）を把握できておらず、二地域居住の施策につなげられていない。
- スマートフォンで利用できるアプリを活用し「二地域居住ふるさと会員」として、二地域居住者の見える化を図るとともに、アプリの機能を活用して、訪問頻度・滞在期間増加、地域の担い手不足解消、二地域居住者増加を図る。

実施概要

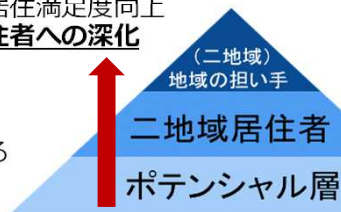
「二地域居住ふるさと会員」アプリ（以下、会員アプリ）を活用し、主に以下の取組を実施する。

● 既存二地域居住者の訪問頻度・滞在期間増加、地域との関係深化の取組

- ・別荘、セカンドハウス所有者を会員アプリに登録促進
- ・地域情報の効率的な提供による、地域活動への参加促進、地域の担い手への深化
- ・ポイント活用による滞在期間、訪問頻度の増加促進
- ・住民サービス提供（公共施設利用、ごみ出し等）による居住満足度向上

● 「お試し二地域居住体験」でポテンシャル層を二地域居住者への深化

- ・お試し二地域居住体験ツアーの実施
- ・アプリのアンケートによる課題発見
- ・ポイント活用による移動促進、再来訪促進
- ・地域住民との交流の機会を用意し、地域に知り合いを作る
- ・地域での原体験により、那須町に愛着をもってもらう



調査体制

那須町二地域居住促進コンソーシアム

（代表団体） 那須町

- ・全体の企画調整
- ・統括・進捗管理
- ・実証の実施主体
- ・情報発信

（構成団体） 伊藤忠テクノソリューションズ

- ・二地域居住デジタル会員証アプリの運営
- ・アプリ活用ノウハウ提供
- ・アンケート集計

期待する効果

地域への効果

- 訪問頻度・滞在期間の増加
- 地域の担い手不足解消
- 地域内消費拡大
- 地域体験や交流による地域活性化

二地域居住者やポテンシャル層への効果

- 地域との関係性や愛着深化
- 居住満足度やWell-beingの向上
- 知り合いを作り、居住後の不安解消
- 災害時避難先確保

《主な調査内容》

取組内容

● 「二地域居住ふるさと会員」アプリの内容

スマートフォンアプリの以下のような機能を利用する（予定）

- ・会員証表示
- ・イベント参加履歴
- ・訪問場所履歴
- ・アンケート
- ・イベント、おすすめ情報発信
- ・地域体験、地域イベント、地域交流の申込
- ・ふるさと納税情報の発信
- ・ポイント登録・利用（予定）

<ポイント付与：イベント参加、町への訪問、町内スポット訪問、アンケート回答>
<ポイント利用：地域体験、地産品抽選、民間施設割引等>

● アプリを使った具体的な取組

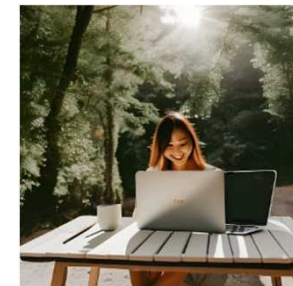
- ・既存二地域居住者の訪問頻度・滞在期間増加、地域との関係深化の取組
 - ・「お試し二地域居住体験」によるポテンシャル層を二地域居住者への深化
- 会員アプリを活用し、二地域居住者が地域体験や住民と交流する機会を増やし、地域活性化や地域の担い手促進を図るとともに、新たな二地域居住者を増やしていく。



● 地域住民との交流



● 地域での原体験



● 自然の中でのテレワーク

主な検証内容

- 会員アプリ（ポイント・情報発信）が、訪問頻度・滞在期間に与える効果の検証
- 「地域交流」・「地域での原体験」が「地域関係性・愛着深化」に与える影響の検証
- 二地域居住者の関心度が高い地域情報や地域活動の検証
- 二地域居住者がwell-beingに与える影響の検証
- 災害時の避難先として二地域居住地活用可能性の検証
- 住民サービス提供（公共施設利用、ごみ出し等）による居住満足度検証
- 二地域居住の弊害となる課題の洗い出し
- 二地域居住者が地域の担い手となる方法の検証
- 二地域居住者との交流による、地域住民にとってのメリットの検証